

1. 地域ネットワーク の構築

ものづくりネットワークの構築の報告書

山形県立長井工業高等学校

1	テーマ	第1回 草の根ものづくりネットワーク会議
2	ねらい	地元企業の要望に応える実践的な技術・技能を有したものづくり人材を育成するため、企業の技術者と高校の教員が意見を交換する場を設け、地域企業と学校現場との相互理解を図り、産学官連携による地域起点のものづくり人材ネットワークを構築する。
3	期間	平成21年 9月7日(月) 16:00～18:00 (2h)
4	研修場所	長井工業高等学校 会議室
5	参加者	① ネットワーク会議 外部委員 6名 ② 校長 他 校内推進委員 15名 ③ コーディネーター 他 4名 合計25名
6	会議の内容	報告 (1) 平成20年度の成果報告 (2) 第3回ものづくり日本大賞について (3) 平成21年度 現在までの活動報告 (4) その他 協議 (1) 今年度の事業計画について (2) 共同研究について (3) その他 企業・長井市側より
7	写真	 <p>①開会のあいさつ ②校長あいさつ ③中小企業団体中央会より</p>
8	成果と課題	<p>評価</p> <p>① ものづくり日本大賞の受賞経過について、詳しく知ることができた。</p> <p>② 今年度の事業内容について、企業、校内委員の共通理解を得ることができた。</p> <p>③ 共同研究を推進する上で、参考となる地元企業の紹介をいただくことができた。</p> <p>課題</p> <p>① 定期的な会議の他に、気軽に相談できる雰囲気が必要。</p> <p>② 企業の方が学校から相談されるのを待っていることがわかったので、学校側から積極的に相談に行くことが必要。</p>

ものづくりネットワークの構築の報告書

山形県立長井工業高等学校

1	テーマ	第2回 草の根ものづくりネットワーク会議
2	ねらい	地元企業の要望に応える実践的な技術・技能を有したのものづくり人材を育成するため、企業の技術者と高校の教員が意見を交換する場を設け、地域企業と学校現場との相互理解を図り、産学官連携による地域起点のものづくり人材ネットワークを構築する。
3	期間	平成21年12月28日(月) 13:00～14:30 (1.5h)
4	研修場所	長井工業高等学校 会議室
5	参加者	① ネットワーク会議 外部委員 5名 ② 校長 他 校内推進委員 14名 ③ コーディネーター 他 2名 合計21名
6	会議の内容	報告 (1)ものづくり産業担い手育成モデル事業パンフレットについて (2)企業ガイド掲載内容について 協議 (1)今年度の事業成果と課題 (2)共同研究について、取り組みと今後の課題 ①2足歩行ロボット ②福祉機器の開発 ③自助具の開発 ④デジガモ/農業機械の開発 ⑤黒獅子ロボットの製作 講評 企業・長井市より
7	写真	 <p>①校長あいさつ ②事業報告 ③中小企業団体中央会より</p>
8	成果と課題	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度1年で、かなりいろいろな事業をしていることがわかった。 ・ロボットの成長が素晴らしい。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NEQ検査・・・長井工業高校の生徒にも実施して欲しい。 ・成果発表会を、是非他校と合同でやってみてどうか？ 他校と合同でやることで、切磋琢磨する部分がでてくると思う。 ・企業見学のアンケートを受けて、地元の企業で働きたいと思うかの間に、4～6名の生徒の思わないという回答が気になる。 ・ロボットの大会当日までに製作講習会をもっと設けて、企業のロボットとの交流を深める機会をもつ事。 ・技能検定の取り組みは良い結果であるが、もっと合格者をふやしてほしい。 ・インターンシップのアンケートは好評だが、企業見学のアンケートで不評な点があるのは、企業側の工夫も足りないのでは無いかと思う。 ・来年でこの研究事業が終わってしまうが、継続していくこと大切。 ・デュアルシステムについて、「何を企業で教えたらいのか困る」という意見が合ったことについても、学校と企業の連携をもっと密にして学校で教える領域、企業で教える領域を明確にする必要あり。(技術ロードマップ)

ものづくりネットワークの構築の報告書

山形県立長井工業高等学校

1	テーマ	第3回 草の根ものづくりネットワーク会議
2	ねらい	地元企業の要望に応える実践的な技術・技能を有したのものづくり人材を育成するため、企業の技術者と高校の教員が意見を交換する場を設け、地域企業と学校現場との相互理解を図り、産学官連携による地域起点のものづくり人材ネットワークを構築する。
3	期間	平成22年2月25日(木) 16:00～17:00 (1h)
4	研修場所	長井工業高等学校 会議室
5	参加者	① ネットワーク会議 外部委員 4名 ② 校長 他 校内推進委員 14名 ③ コーディネーター 他 1名 合計19名
6	会議の内容	報告 (1) 次年度の予算について (2) 次年度、研究のまとめの発表会について 協議 (1) 今年度の事業報告 (2) 共同研究について、取り組みと今後の課題 ① 2足歩行ロボット ② 福祉機器の開発 ③ 自助具の開発 ④ デジガモ/農業機械の開発 ⑤ 黒獅子ロボットの製作 (3) 次年度の計画 講評 企業・長井市より
7	写真	 <p>①校長あいさつ ②外部委員(企業・市) ③事業報告</p>
8	成果と課題	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間で、いろいろな事業をしていることがわかった。 ・2足歩行ロボットの成長が素晴らしい。 ・ものづくり大賞、NHKクローズアップ現代での放送が今年のヒットだった。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後自立化の道をどうするか? 長井市でも4年目以降の人材育成について、検討委員会を作り検討していく。 ・企業研修について・・・来年度は、西置賜産業界の中でも研修会を開いているので、そこに学校も参加してやってほしい。 ・ものづくりに関わるネットワークだけでなく、ロボット大会参加者との交流や異業種企業との交流など、楽しく会話する中で、いろいろな発想が生まれてくる。 ・2足歩行ロボット「genryuu」の平田君のロボットが良かった。ロボット大会を盛り上げるため、高校生のブロックを作ったが、それが良かった。今後も、大会を盛り上げることに協力してほしい。 ・4年目から、研究指定がなくなると予算が削られるが、予算がないときのものづくりで、いろいろな電化製品の廃品から部品を取り外して作っていくのはどうだろうか?リサイクル教育にも良いと思う。